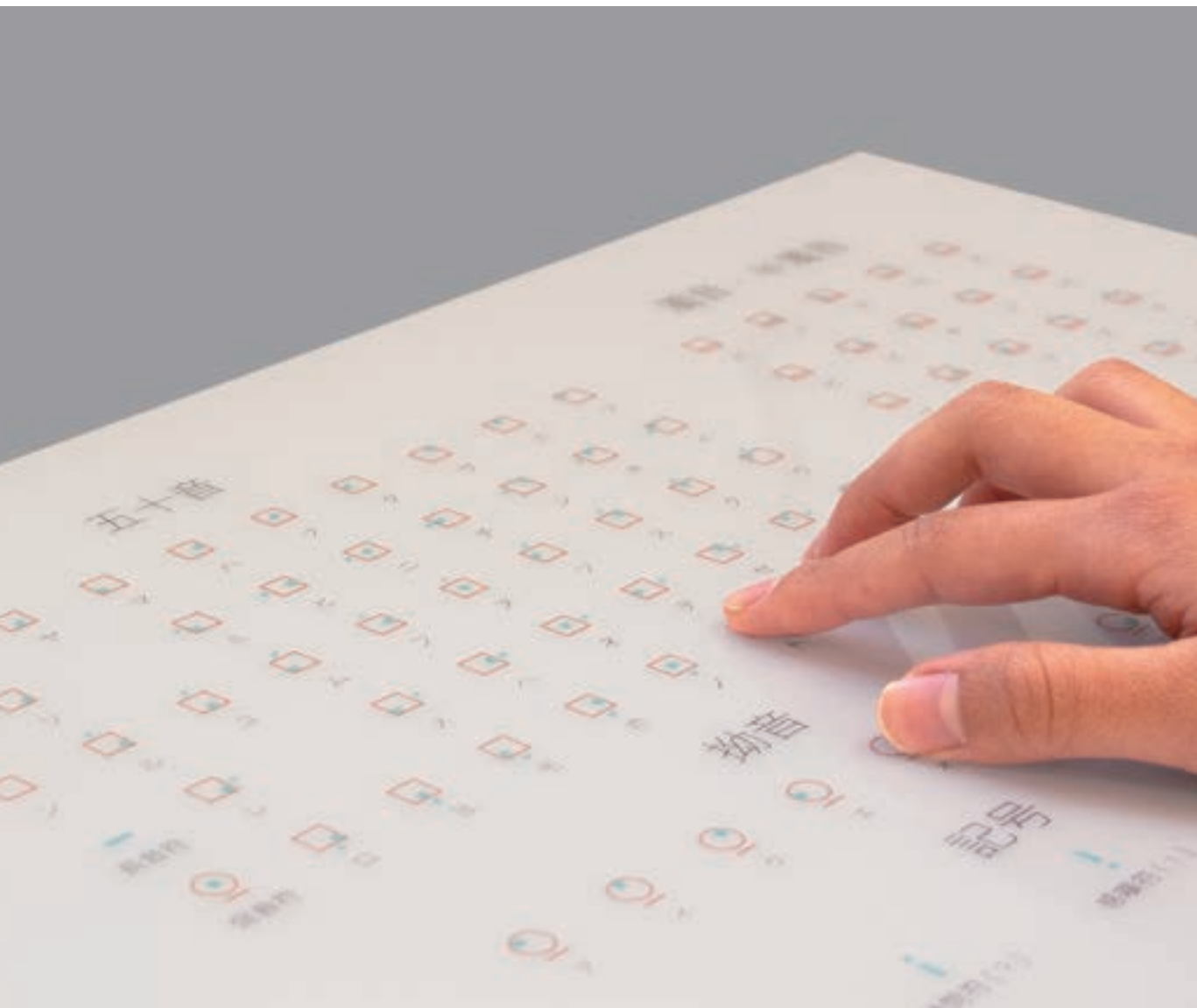


Flick Braille

中途失明者にむけた新たなコミュニケーションツール

武輪 幸之介

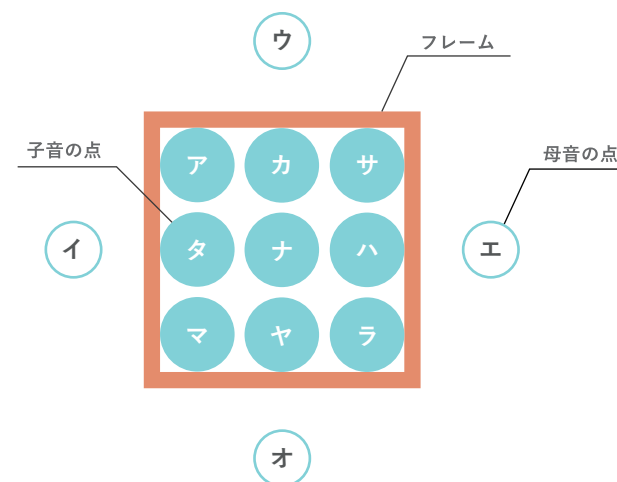


中途失明者の「読む」を可能にする新たな点字

視力を失った人が利用する「点字」。その習得率は国内の視覚障がい者の中でもわずかに割ほどであり、特に中途失明者にとっては習得が難しいといわれている。人生の半ばで「読む」という行為が困難になった人への一つの選択肢として、ルールが易しい新たな点字を提案する。

A New Style Of Braille That Allows The Blind To 'Read'

Braille has only been mastered by about 10% of the visually impaired community in Japan, with particularly low adoption amongst those who have lost their sight mid-way through their lives. I propose a new Braille system, with easier rules as an alternative for those who have lost their vision halfway through their lives.



フリック入力を元にした点字

国内の多くのスマートフォン利用者にとって馴染み深く、単純化された動きで文字を入力することができるフリック入力のボタン配列や動きをベースにした。フレーム内側の点の位置でア行からワ行までの子音を判別し、フレーム外側の点の位置でア段からオ段までの母音を判別する。

厚み、大きさの変化で読みやすく

目隠しをした状態の晴眼者や視覚障がい者の方々へのリサーチを重ね、細かな形の調整を行った。点の厚みをフレームより0.2mm厚くすることで点とフレームの位置を共に認識しやすくし、母音の点と子音の点の大きさに変化をつけることで文字の誤読を防ぐ。